

愛和保育園 地域子育て支援 「きしやぽっぽ」だより



地域のみなさま 愛和保育園地域子育て活動 です

2・3月の地域活動日(予定)

2月 3日(火)	くれよん1才 すみれグループ	4日(水)	ふれあい離乳食体験 ※要申込み 10時30分～11時30分
17日(火)	子育てひろば※18日から変更 10時～11時 ※要申込み	18日(水)	ミモザさん交流(くれよん1才) 10時～11時
24日(火)	くれよん0才 すみれグループ	25日(水)	誕生会ブックスタート ※要申込み 10時～11時
3月 3日(火)	子育てひろば(おはなし会) 10時～11時	4日(水)	ふれあい体験&誕生会ブックスタート 10時～11時 ※要申込み
17日(火)		18日(水)	子育てひろば※要申込み 10時～11時

毎月、枚方市のふれあい体験を行っています

2月4日 (水) 10時半～11時半	5～8か月児 ふれあい体験 要予約 親子で離乳食の試食・ふれあい遊び
2月 25日 (水) 10時～11時	満1歳 誕生会ブックスタート 要予約 満1歳のお誕生日を保育園のお友だちみんなとお祝いしましょう。 お誕生カードと、市から絵本のプレゼントがあります。事前にお申込みの上、 9時50分頃 (10時開始です) 園へお越しください。 (母子手帳必要、誕生カードに貼るスナップ写真をご持参ください)

子育てワンポイント 「甘やかすこと」と「甘えさせること」に迷うとき

ちいさいなかま2019年4月号 長瀬美子著より抜粋

「子どもが言うことをきいてくれない」「時間がきても遊びをやめようとしている」「片づけをしない」「泣いて自分の要求を通そうとする」などの子どもの行動に対して、「子どもの言うことを聞いたほうがいいのか」「言いきかせてやめさせたほうがいいのか」と悩むことは、どの保護者にも保育者にもあることだと思います。

こうした悩みは、「子どもの思いをしっかり受けとめたい」という思いと「しつけやふさわしい行動を身につけさせたい」という願いという、ともに重要でありながら両立させることがむずかしい二つのことがあるからこそ生まれてきます。子どもの要求にはできるだけ応えてあげたい、しっかり受容し、共感することが大切だと思う反面「なんでも受け入れてたらわがままな子どもにならないか」「がまんも大切では?」など両方の考えがあり、悩んでしまうのだと思います。子どもを思えばこそ、しっかり子育てをしたいと思うからこそ生じるものであり、悩むことは決して悪いことではないのです。

では、「甘やかすこと」と「甘えさせること」はどう違うのでしょうか?

子どもがわがままを言ったり、言うことをきかずにただをこねたりすることは、保育者や保護者にとっては「困ったこと」ですが、子どもにとっては「必要なこと」であり、理由のあることです。しかも、その必要性や理由はさまざまです。何か悲しいことや不安なことがあって、それを誰かに受けとめてほしいということもあるでしょうし、わがままを言うことで気を引いたり、おとの反応を試したりということもあるでしょう。

もちろん子ども自身はすべて自覚的に行っているわけではありません。自覚できていないことも多いのです。だからこそ、「必要」で「正当な欲求」でもあるのです。「甘えさせる」というのは、子どもの「必要」で「正当な欲求」を受けとめるということです。子どもの必要と合致しているかどうかが大切なことです。これまでが必要な「甘えさせること」で、どこからが望ましくない「甘やかす」ことなのかという線引きは非常にむずかしいですが、まずは、「思いを受容すること」と「行動を許容すること」を峻別することが必要です。子どもの思いは、言葉とは異なる場合や反対の場合もあります。だからこそ、言葉そのものに振り回されることなく、子どもの求めていること、必要としていることを探しながら聞き取る、読み取ることが不可欠になります。思いや感情を否定せず受けとめることは大切ですが、それは何でも許すこととは違います。分けるとすれば子どもの思い、気持ちを受けとめることが「甘えさせる」であり、不適切な行動まで許容することが「甘やかす」だと言えます。